

1 目的

これまでの人にやさしい街づくり賞（以下、人街賞という）の取組の成果を活かすため、これまでの人街賞をレビュー（再評価し今後を展望）し、今後の「人にやさしい街づくり」の普及・啓発のためのガイドブックとしてまとめる。

2 作成内容

- (1) これまで先駆的な取組として人街賞を受賞した取組について、追跡調査をアンケート形式により行う。
- (2) アンケート形式による追跡調査は、次のア～ウについて実施する。
 - ア 「もの」「活動」が人や街にどのような影響を与え、受賞時からどのように変化しているか、を明らかにする。
 - イ 現在も人にやさしい街づくりに寄与している「もの」「活動」として継続している要因は何か、を明らかにする。
 - ウ 街と人との関わりを調査し、「もの」「活動」と街との関係性や地域の中へどう開かれていくか、を明らかにする。
- (3) アンケート形式による追跡調査の結果を踏まえ、今後の人にやさしい街づくりを展望する上で再評価しておくべきものについて現地調査・ヒアリングを行い、人街賞の選考委員となっている学識経験者の方にレビューをしていただく。
- (4) 追跡調査アンケートの結果と現地調査・ヒアリングによるレビューについて、今後の「人にやさしい街づくり」の普及・啓発のためのガイドブックとしてまとめる。

3 アンケートによる追跡調査

(1) 対象

これまでの人街賞の受賞者 155 件

(2) 調査内容

- ア. 受賞後の施設の状況について
- イ. 受賞後の活動の状況について
- ウ. 受賞後の地域との関わりについて

(3) 結果

参考資料5のとおり

3 現地調査・ヒアリングを行う取組の選定（案）

(1) 現地調査・ヒアリングを行う取組の選定の考え方

今後の人にやさしい街づくりを展望するため、アンケートの回答を基に、「継続に必要な要因」や「地域への広がり」等について、他に参考とすべきものを抽出し、現地調査・ヒアリングを行う。

(2) 評価項目と評価ポイント

評価項目	評価ポイント
施設改良について	施設のバリアフリー改良やサービスの充実を図るために行った改良
施設の維持について	長く施設を維持していくために行っていること
施設の拡大・維持について	人材育成や経済面での対応等、施設の維持・拡大のために行っていること
施設の積極的な活用について	利用者ニーズの把握、地域住民との交流等、積極的な活用を図るために行っていること
活動の拡大・質の向上について	拡大・質の向上が図られた活動について行ったこと
活動の維持について	長く活動を維持していくために行っていること
活動の拡大・維持について	人材育成、経済面での対応等、活動の維持・拡大のために行っていること
施設・活動の広報について	TV、雑誌、新聞等により施設や活動の紹介の有無
地域への広がりについて	地域内でバリアフリー化された施設やバリアフリーに関するイベント等の増加
地域との関わりについて	地域でのイベントの開催、地域活動への参加の頻度

(3) 選定結果

現地調査・ヒアリングを行う団体候補

名称	区分	所在地	主な選定理由
社会福祉法人 AJU 自立の家（第1回大賞）	活動	名古屋市昭和区	福祉サービス事業の種類を拡大し、当事者が主体となった取組を継続して行うことにより、障がい当事者リーダーを育てている。
一般財団法人まちの縁側クニハウス&まちの学び舎ハルハウス（第6回大賞）	モノ	名古屋市千種区	財政難でありながら15年以上取組を継続し、更に地域との関わりを増している。
生協のんびり村（第16回特別賞）	モノ	東海市	地域の方と定期的に話し合いや地域の方の相談も受けている等、地域に溶け込んだ施設となっている。また、施設整備について参考にしようとする見学者も多い。
総合病院 南生協病院（第17回大賞）	モノ	名古屋市南区	地域住民主導による独自の取組を展開しており、他の団体に類似事例のない取組を行っている。
Ponte Café 匠（第18回賞）	活動	安城市	障がい当事者が働くカフェで、特に人材育成に力をいれている。

4 スケジュール

〇作業行程

